

令和6年度中学生議会会議録

日 時 令和6年8月5日(月)

開会時間 午後 1時00分

閉会時間 午後 1時51分

場 所 加賀市役所 議場

議 長

中 学 生 議 長 小 泉 珠 季

質問者

中 学 生 議 員 霜 下 咲 羽

中 学 生 議 員 吉 田 莉 麻

中 学 生 議 員 島 貫 礼 衣

中 学 生 議 員 西 山 果 歩

中 学 生 議 員 五所村 央 歩

中 学 生 議 員 榮 枝 慈 英

中 学 生 議 員 伊勢谷 柚 葉

中 学 生 議 員 永 谷 蓮 音

中 学 生 議 員 小 原 純 一

中 学 生 議 員 田 中 琳 晴

中 学 生 議 員 和 田 伽 依
(欠 席)

補佐役議員

議 長 今 津 和喜夫

副 議 長
(司 会) 上 田 朋 和

議 員 上 野 清 隆

議 員 若 林 高

議 員 荒 谷 啓 一

議 員 一 色 眞 一

議 員 東 野 真 樹

議 員 中 川 敬 雄

議 員 南 出 貞 子

議 員 辰 川 志 郎

議 員 稲 垣 清 也

議 員 中 谷 喜 英

議 員 林 直 史

議 員 山 口 忠 志

議 員 林 茂 信
議 員 川 下 勉

議 員 林 俊 昭

説明員

市 長 宮 元 陸

副 市 長 深 村 富士雄

会 計 管 理 者
兼 会 計 課 長 米 屋 郁 代

総 務 部 長 奥 野 俊 雄

政 策 企 画 部 長 岡 田 隆 之

イノベーション
推 進 部 長 兼
最 高 デ ジ タ ル
責 任 者 山 内 智 史

市 民 健 康 部 長 北 口 未知子

産 業 振 興 部 長 小 出 仙 憲 康

建 設 部 長 谷 口 睦

上 下 水 道 部 長 西 田 佳 津 男

財 政 課 長 高 橋 英 樹

秘 書 課 長 山 田 智 栄 子

医 療 セ ン タ ー
管 理 部 長 兼
加 賀 看 護 学 校
事 務 局 長 薦 秀 和

教 育 委 員 会 長
教 育 長 島 谷 千 春

教 育 委 員 会 長
教 事 務 局 長 堀 川 夏 雄

代 表 監 査 委 員 浅 井 廣 史
(欠 席)

監 査 委 員 長
監 事 務 局 長 小 茂 出 健

消 防 長 大 和 克 幸

会 議

開会挨拶

中学生議会

講評

会 議

開 会 挨 拶

○上田副議長 定刻となりましたので、令和6年度中学生議会を開会いたします。

開会に先立ちまして、今津議長より御挨拶を申し上げます。

○今津議長 皆さん、こんにちは。

加賀市議会議長の今津でございます。

本日は、中学生議員の皆さんには夏休み期間中にもかかわらず、中学生議会に御参加をいただきまして誠にありがとうございます。

これまで中学生議会、小学生議会そして中学生議会、高校生議会と、今回で5回目の開催となります。今回初めてサブタイトルなるものを、議長役の小泉珠季さんをお願いしまして、つくっていただきました。「加賀のよりよい明日を創る中学生議会」というタイトルであります。そして、そのタイトルに沿った形で、中学生の皆さんには学校の諸問題、そして加賀市の様々な問題につきまして質問を通告していただきました。

当局の皆さんにはなるべく分かりやすい言葉で答弁を、そして前向きな御答弁をいただきますよう、よろしくお願いする次第であります。

中学生議員の皆様にはこういった、直接、市当局に質問する機会は貴重でございますので、若者らしく堂々とはつらつと質問なさることを願っております。

この中学生議会が皆様にとりまして有意義で充実したものになりますことを願いまして、私からの御挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

中 学 生 議 会

○議長（小泉珠季君） ただいまから加賀市中学生議会を開会いたします。

本日中学生議会議長を務めます、橋立中学校1年、小泉珠季です。よろしくお願いします。

今回初めての取組となるサブタイトルをつけさせていただきましたので、御報告いたします。サブタイトルは、「加賀のよりよい明日を創る中学生議会」です。このサブタイトルには、各学校から様々な意見を集め、よりよい学校生活、地域にしていきたいという思いを込めました。本日の中学生議会の経験を生かし、よりよい未来の加賀市をつくるため、私たち中学生も努力していきたいと思います。

それでは、本日の会議を開きます。

これより、私たちが暮らすふるさと加賀市の将来やまちづくりについて、私たち中学生の視点から、加賀市政に対する一般質問を行います。

通告がありましたので、順次、発言を許します。

伊勢谷柚葉君。

○伊勢谷柚葉君 片山津中学校2年、伊勢谷柚葉です。

旅館・ホテルの交流スペース活用について質問します。

私が住む片山津温泉には、温泉、歴史などの魅力あふれる観光資源がたくさんあります。

ですが、近年廃業してしまったホテルや旅館などが多く見られ、片山津温泉の魅力の一つである活気あふれる町並みが失われつつあります。

そこで、私は、再び片山津温泉の活気を取り戻し、「暮らす人・訪れる人が楽しめる町」にするために、廃業旅館及び現在営業している旅館、ホテルを生かした交流スペースづくりを提案します。そこでは、主に片山津温泉に暮らす人に向けた活用を行ってはどうかと考えています。

片山津温泉には、子どもからお年寄りまで幅広い世代の人が暮らしています。加えて、学生が学習スペースとして利用できる場所がありません。私の周りでは、図書館のようなみんなが学習できる場所が欲しいという声をよく耳にします。そのため、昼間はお年寄りが休める休憩スペース、夕方は小学生から大学生まで多くの学生が利用できる学習スペース、図書館にすることで、ホテルのロビーなどの広い空間を無駄なく活用できるのではないかと考えています。

さらに、片山津温泉に訪れる人にも楽しんでもらうために、そこでイベントを開催すれば、片山津温泉へ足を運ぶきっかけになるのではないのでしょうか。

私は、このような取組を実施することで、片山津温泉がもっとにぎやかなまちになると考えます。市の考えをお聞きます。

○議長（小泉珠季君） 宮元市長。

○宮元市長 皆さん、こんにちは。

今日は、小泉議長をはじめ加賀市の中学生の皆さん、ようこそ加賀市議会へお越しをいただきました。皆さん、加賀市にとってまさに宝物であります。将来の加賀市を背負っていただく大事な大事な存在であります。この機会をぜひ一つのきっかけとして、これから加賀市のために皆さんと力を合わせてつくり上げていければいいなと思います。

先ほど、中学生議員の方に椅子に座っている印象はどうですかとお聞きしたんですけれども、ほとんど無言でしたね。さぞかし緊張しておられるのではないかなと思いました。好きなことを言ってください、ぜひ。よろしくお願ひしたいと思います。

では、ただいまの質問についてお答えしたいと思います。

ホテル、旅館の交流スペース活用についてお答えいたします。

片山津地区には、温泉のほか、柴山湯や肩越しに臨む白山の眺望、実盛伝説など、魅力あふれる観光資源がたくさんあります。一方で、伊勢谷議員御指摘のとおり、廃業となった旅館やホテル、商店などが大変多く見られます。本市の大きな課題の一つとなっているところであります。

廃業した旅館やホテルにつきましては、有効活用に興味を持たれた民間事業者への相談を行っております。それらの施設は、老朽化しているものや耐震性に問題のある物件もあり、電気や水道も止まっている状況でありますので、まずこのような施設の再生を目指してい

たいというふうに考えております。

次に、現在営業している施設の活用であります。宿泊施設は観光客が宿泊することが主な目的でありますので、まず、旅行気分が高まるような工夫が大切であります。その上で、地元の方が集う場所になれば、大変すばらしいと思っております。既に、地元工芸作家の展示会など、地元の人を対象としたイベントを行っている施設もあり、地域住民と観光客の交流できる新たな観光スポットになるものと期待いたしております。

また、片山津温泉では、夏の花火大会のほか、今年は初めて花火とドローンのコラボショーを開催されるなど、地域の皆様が様々な魅力づくりに取り組まれておりまして、温泉地のにぎわい創出は大きく進むものと思っております。

片山津温泉の再生に向けましては、伊勢谷議員からの御提案も参考にさせていただきながら、地域や観光関係者の方と共に、知恵を出し合って魅力づくりに取り組んでまいりたいと考えております。

以上であります。

○議長（小泉珠季君） 伊勢谷柚葉君。

○伊勢谷柚葉君 以上で私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（小泉珠季君） 伊勢谷柚葉君の質問及び答弁は終わりました。

霜下咲羽君。

○霜下咲羽君 錦城中学校3年、霜下咲羽です。

令和6年能登半島地震から考えたことについて質問します。

令和6年1月1日に発生した能登半島地震、私たちの学校では、入学したときに生徒一人一人に備蓄食料として乾パン1缶と飲料水1本を、自分たちの集金で準備しています。大きな災害がなければ、卒業時にそれをもらい受け、自宅に持ち帰ることになっています。

加賀市では、地域の住民が安心して避難できるように、学校や体育館が避難場所として指定されたと聞きます。備蓄倉庫と食料だけでなく、毛布や生活必需品を各学校に配備する必要があると考えますが、加賀市の考えをお聞かせください。

○議長（小泉珠季君） 宮元市長。

○宮元市長 災害に備えた備蓄品についてお答えしたいと思います。

災害時の被害を最小限に抑える対策といたしまして、自助、共助、公助と3つの考え方がございます。自助とは、自分自身の身の安全を守ること、共助とは、地域の人たちで互いに助け合うこと、そして公助とは、市や消防、自衛隊といった公的機関による救助や援助を受けることを言います。

今ほど霜下議員が通学をしておられる錦城中学校では、生徒一人一人が防災意識を持たれ、水と食料を備蓄されるという、自助の取組が行われていることは、大変すばらしいことだと思っております。

現在、加賀市では、防災備蓄品の多くは中央公園にあります防災備蓄倉庫で、飲料水やア

ルファ米など使用期限があるものや、すぐに運び出せる物資を備えて、集中管理を行っています。また、段ボールベッドや毛布、非常用発電機など、すぐに運び出せない大型の物資につきましては、指定避難所である学校や地区会館への配備を順次進めております。

錦城中学校を含む指定避難所へ生活必需品等を配備するには、新たに物資の保管場所を確保する必要がありますので、現在はイオン加賀の里店や平和堂など、災害支援協定の中で、生活必需品などを確保する体制を整えております。災害時には、この協定に基づきまして必要な物資を調達し、円滑に指定避難所まで届けることといたしております。

以上です。

○議長（小泉珠季君） 霜下咲羽君。

○霜下咲羽君 以上で私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（小泉珠季君） 霜下咲羽君の質問及び答弁は終わりました。

小原純一君。

○小原純一君 山中中学校3年、小原純一です。

山中温泉街におけるボール遊び場の整備について質問します。

山中温泉街は、観光地であり、住宅街でもあります。このような町だから、家やお店が密集していて、車通りも多いです。そのため、野球遊びなど、子どもたちがのびのびとボールを使った遊びをすることができません。また、山中児童センターも、令和6年能登半島地震の影響で使うことができません。

そこで、屋外でも屋内でも自由にボールを使った遊びができる場所を設けてほしいと思います。これを行うことで事故も減ると思いますし、子どもたちが不自由なく遊べると思います。もしできないのであれば、山中温泉ゆけむり健康村のテニスコートを自由に使わせてほしいと思いますが、市のお考えをお聞かせください。

○議長（小泉珠季君） 宮元市長。

○宮元市長 山中温泉街におけるボール遊び場の整備についてお答えします。

ボール遊びができる場所の一つでありました山中児童センターは、1月の令和6年能登半島地震により屋外の階段室や部屋の破損、亀裂などの被害を受けたことから、4月27日から山中総合福祉センターの一部を利用して開館いたしております。

現状では、通常のボール遊びができない状況ですが、スカットボールなどのニュースポーツの行事を開催するほか、3階ホールの窓ガラスに飛散防止シートを貼りまして、安全対策を講じた上で、柔らかいボールでのドッジボールやストラックアウトを楽しめるよう、工夫をしながら開館をしているところであります。

また、山中温泉ゆけむり健康村のテニスコートについては、テニスコートを含め施設の老朽化に伴いまして現在休館しており、残念ながら皆さんが安全に使用できる状況ではありませんので、御理解いただければと思っております。

山中温泉地区のボール遊びができる場所としては、山中中学校校区内にあります山中健民

体育館があります。中学生以下の皆さんは無料で利用ができます。そのほか、屋外の施設として、山中小学校、山中中学校のグラウンドについても開放いたしております。これらの環境を積極的に活用し、のびのびと安心してボール遊びを楽しんでいただければと思っております。

以上です。

○議長（小泉珠季君） 小原純一君。

○小原純一君 以上で私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（小泉珠季君） 小原純一君の質問及び答弁は終わりました。

永谷蓮音君から、質問に際し、資料の持込み及び配付の要請がありましたので、議長においてこれを許可いたします。

永谷蓮音君。

○永谷蓮音君 片山津中学校2年、永谷蓮音です。

校舎の整備について質問します。

僕の通っている片山津中学校は、外壁が至るところで剥がれ落ちており、かなり目立つ様子です。

資料をお願いします。

1階のトイレ付近の壁や3年生玄関のひさし、時計周辺の外壁などは、特にひどい状態にあると言えます。

資料を閉じてください。

これからもこの校舎を長くきれいに使っていくために、外壁の改修が実現したらとてもうれしいです。

また、トイレの老朽化も大きな問題です。

資料をお願いします。

トイレの詰まりやタンクに水がたまらない不具合、臭いなどの問題のほかにも、便座のカバーやタンクの蓋が破損し、テープで補修している箇所もあります。

資料を閉じてください。

トイレの老朽化は、僕たちの生活に大きな影響を及ぼしています。過ごしやすい学校にするためにも、衛生的にも、トイレの改修は急務であると感じています。

以上の理由から、片山津中学校の校舎の施設整備を、ぜひともよろしくをお願いします。

○議長（小泉珠季君） 島谷教育長。

○島谷教育長 校舎の整備についてお答えいたします。

まず、片山津中学校の外壁については、永谷議員御指摘のとおり、塗装が剥がれ、劣化が進んでいることは、実際に私も現地を確認しています。塗装の剥がれは美観を損ない、さらには雨漏りの原因になる可能性があり、校舎の長寿命化に影響が出る恐れもあるため、外壁改修については、来年度予算に向けて検討、調整を進めていきたいと考えております。

また、学校トイレにつきましては、トイレの詰まりや悪臭の問題があります。学校のトイレは、皆さんが学校生活を送る上で欠かせない大切な場所なので、トイレの改修についても必要であると考えております。トイレについては市内の学校が共通に抱える問題ですので、劣化度合いにより優先順位をつけ、順次進めていきたいと考えております。

今後も校舎等の改修、整備は、危険性や緊急性を踏まえ順次進めていくことで、皆さんが過ごしやすい良好な学習環境を確保してまいりますので、これからも校舎を大切に使用いただければと考えております。

以上でございます。

○議長（小泉珠季君） 永谷蓮音君。

○永谷蓮音君 以上で僕の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（小泉珠季君） 永谷蓮音君の質問及び答弁は終わりました。

榮枝慈英君から、質問に際し、資料の持込み及び配付の要請がありましたので、議長においてこれを許可いたします。

榮枝慈英君。

○榮枝慈英君 山代中学校3年、榮枝慈英です。

通学路の危険性について質問します。

僕の通学路には、田んぼ道があります。その田んぼ道は、山代中学校の自転車小屋を出て、市之瀬用水を渡り、山代温泉街に抜ける道です。

持込み資料を投影します。

この道はかなり細く、自動車が通ると、一度止まらなければならないほどです。そして、風の日には自転車が風に押し負けたり、冬の日には暗く足元が見えなかったりして、田んぼに落ちる生徒がよくいます。

持込み資料を閉じます。

僕も自転車で登下校をしているのですが、部活帰りで暗く、友達と帰っていても、田んぼに落ちかけた経験があります。

解決策としては、幾つか街灯を設置したり、道の左右に柵を建てたりするなどが必要だと思います。市のお考えをお聞かせください。

○議長（小泉珠季君） 島谷教育長。

○島谷教育長 通学路の危険性についてお答えいたします。

榮枝議員御指摘の通学道は、私も実際に現地に行き、確認をしましたが、道幅も狭く、街灯の間隔が広いと、日没後の下校時には十分な明るさも確保できないのではないかと考えています。

この通学路は、周辺の状況を見ますと、本来は田んぼの耕作に必要な農道であるため、転落防止柵の設置は農作業の効率を低下させてしまいます。また、道路照明等が稲の生育に悪影響を及ぼした事例もあり、街灯をさらに明るくすることは慎重に考える必要があります。

山代中学校では、この夏休み期間中に、この通学路を含め全ての通学路を点検、確認すると聞いておりますので、場合によっては、少し不便でもより安全な別の通学路が指定されることがあるかもしれませんが、学校の点検を待っていただければというふうに考えております。

なお、市内全ての通学路が広く明るく車も通らないのであれば完璧なのですが、実際にはそうではない箇所も多々ございますので、道路幅が狭く、街灯の明るさが十分ではない通学路を通るときには、いつも以上に注意しながら徐行していただければと考えております。

今後も通学路の危険箇所の点検を行い、改善すべき箇所は改善していき、児童生徒の通学路、通学時の安全を確保できるよう、学校と連携をしてやり取りを進めてまいります。

以上でございます。

○議長（小泉珠季君） 榮枝慈英君。

○榮枝慈英君 以上で私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（小泉珠季君） 榮枝慈英君の質問及び答弁は終わりました。

西山果歩君。

○西山果歩君 東和中学校3年、西山果歩です。

校区内の熊出没について質問します。

私たちが通う東和中学校には、動橋地区、分校地区、作見地区の生徒が集まっています。

先日、作見地区と分校地区で熊が出ました。また、昨年には私が住む動橋地区でも熊が目撃され、さらに数年前には動橋川堤防を散歩していた人が熊に襲われ、大けがを負う事件がありました。

このような出来事を知り、東和中学校の生徒は日々の登下校に不安を感じていると思います。私たちは登下校のとき、人通りが多い道を通るなど、自分たちにできることを心がけていますが、やはり心配です。

そこで、熊対策講座を開催するのはどうでしょうか。この講座では、熊との遭遇時の対策だけではなく、熊を引き寄せない方法や熊の生態と行動パターンについて学び、実地訓練も行いたいと思います。

現在、熊が出た場合の対策はどのように取り組まれているのか、また今後の強化策についてどのように考えているのか、市の考えをお聞かせください。

○議長（小泉珠季君） 宮元市長。

○宮元市長 校区内の熊の出没についてお答えしたいと思います。

まず、熊が出た場合の市の対策についてであります。熊の出没が確認された場合には、その情報を直ちに市民の皆様にお伝えいたしております。具体的には、学校や町内会に出没情報を連絡し、生徒や保護者そして住民への周知をお願いいたしております。また、市のホームページや防災メールにより、広く出没情報を広報いたしております。

出没情報は、石川県警とも共有いたしまして、パトカーによる巡回などを行っていただい

ているほか、市の職員が目撃場所周辺を調査して、熊の動向把握に努めております。

次に、人里近くで熊の出没が確認された場合には、おりによる捕獲を試みております。本年6月に分校地区で目撃された熊は、目撃から3日後の捕獲に成功いたしております。

西山議員御提案の熊対策講座を開催することは、大変有意義な取組であると思いますが、開催に関しましては学校や教育委員会とも相談する必要がありますので、まずは熊の被害に遭わないための取組といたしまして、石川県が作成したリーフレットを各中学校に配付したいと考えておりますので、ぜひ中学生の皆様にも御覧いただきたいと思います。

市ではこれらの対策の強化に努めておりますが、皆様も熊には十分注意いただきたいと思っております。

以上です。

○議長（小泉珠季君） 西山果歩君。

○西山果歩君 以上で私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（小泉珠季君） 西山果歩君の質問及び答弁は終わりました。

田中琳晴君。

○田中琳晴君 山中中学校3年、田中琳晴です。

山中中学校体育館のエアコン設置について質問します。

僕はスポーツが好きで、体育の授業を楽しみにしています。しかし、最近は地球温暖化の影響で、体育館の中の気温や湿度が高くなって暑いです。体育の時間だけでなく、次の授業にまで汗が止まらず、支障が出ます。まだまだ夏はこれからが本番です。このままでは、体育の授業や体育館で行う部活、行事などで、体調不良者が続出してしまいます。さらに、大量の汗が乾くことで体が冷え、風邪を引く可能性もあります。

確かに電気代はかかるでしょう。

ですが、生徒のよりよい学校生活とお金とをてんびんにかけたとき、勝つのはどちらでしょうか。市の考えをお聞かせください。

○議長（小泉珠季君） 島谷教育長。

○島谷教育長 山中中学校体育館のエアコンの設置についてお答えいたします。

議員の御質問にもありますように、近年、夏場は連日猛暑日が続き、熱中症警戒アラートが発令されるなど、体育の授業や部活動においては体調管理が難しい状況であるため、空調の必要性は十分に認識しております。

また、学校体育館は、子供たちの教育活動の場としてだけでなく、避難所として地域住民の命を守る大切な場所です。近年は集中豪雨等の影響で、避難所として使用される回数も増えており、避難所機能としても空調の必要性は高まってきています。

こうした状況を踏まえまして、小中学校の体育館につきましては、まず中学校の体育館から順次、空調機を整備してまいります。

なお、1つの体育館に、停電などの影響を受けずに災害時にでも機能する空調を整備する

には、1億円程度必要になりますので、財源を確保し、できる限り早く整備をしていきたいと考えております。

夏場の体育館の使用の際には、小まめな休憩や適度な水分補給を行うなど、熱中症に十分気をつけながら、過ごしていただければと考えております。

以上でございます。

○議長（小泉珠季君） 田中琳晴君。

○田中琳晴君 通学路歩道脇の草刈りについて質問します。

山中中学校と山中小学校の登下校中、雑草が歩道の街路樹の周りなどに生い茂っており、困ります。例を挙げるなら、2人で並んで歩くことができず、車道に出て歩くことがあります。そうすると、車が来たとき危ないです。それに、足が出る服装をしていると、草で足が切れてしまったり、つまずいて転んでしまいます。

だから、自分たち小中学生が安全に登校できるように、草刈りをしてほしいと思うのですが、市のお考えをお聞かせください。

○議長（小泉珠季君） 宮元市長。

○宮元市長 通学路歩道脇の草刈りについてお答えします。

加賀市では、市が管理する市道のうち、まちとまちをつなぐ比較的交通量の多い幹線道路を中心に、計画的に草刈りを行っております。また、市民からの連絡や道路パトロールなどで、道路脇や植樹帯から伸びた雑草が道路利用者の通行に支障を来しそうな箇所を発見した場合は、適時、草刈りを行っております。

しかし、市内の道路は市道だけでも約690キロメートルもあり、市だけで管理することは大変厳しい状況もあります。そこで、道路側溝の泥上げや町内の草刈りにつきましては、町内会や市民の方々の御協力をいただいているところであります。歩行者だけではなくて、車や自転車など、全ての道路利用者が安全に道路を利用するためには、市はもとより、町内会をはじめPTAや育友会、そして保護者会など、地域の子供たちを見守る方の御理解や御協力が必要であると考えています。

田中議員御指摘の歩道上に植樹帯があるところにつきましては、歩道の幅が狭くなっておりますので、1人ずつ歩いていただき、車道に出ることがないように、ぜひお願いしたいと思います。

なお、雑草が生い茂っており危険な箇所がございましたら、学校を通してでも構いませんので、市のほうへ御連絡いただければ、直ちに対応したいと思っております。

以上です。

○議長（小泉珠季君） 田中琳晴君。

○田中琳晴君 以上で私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（小泉珠季君） 田中琳晴君の質問及び答弁は終わりました。

吉田莉麻君。

○吉田莉麻君 錦城中学校3年、吉田莉麻です。

自転車通学のための安全確保について質問します。

加賀市では、通学時における交通事故が問題となっています。私たちがルールやマナーを遵守しなければならないことは、十分承知しています。しかしながら、大聖寺の町なかや学校付近の道路事情は、大変厳しいものがあります。朝の通学時は、林内科医院前の通りなど、狭い場所を徒歩または自転車で通学しなければならない箇所が多数存在します。子供も地域の大人も安心して暮らせるまちづくりをする必要があります。

子供たち並びに一般の歩行者の安全を確保するために、整備してはと思うのですが、加賀市の考えをお聞かせください。

○議長（小泉珠季君） 宮元市長。

○宮元市長 自転車通学のための安全確保についてお答えいたします。

通学路における交通事故は、全国で多く発生しております。歩行者や自転車の安全な通行を確保するための対策が求められているところであります。

通学路の安全確保につきましては、市といたしましても大変重要であると考えておりまして、毎年、大聖寺警察署、石川県南加賀土木総合事務所、加賀市教育委員会、加賀市の土木課、加賀市の危機対策課などで構成をいたします加賀市通学路交通安全推進協議会のメンバーで、学校や町内から改善の要望のある危険箇所の確認及び点検を行っております。

吉田議員御指摘の区間につきましては、道路の幅も狭く、危険箇所も存在することを確認をいたしました。歩道整備には用地の確保や建物の移転補償など、多くの費用と整備期間が必要であります。

そこで、即効性の高い事業として、道路の路肩部に緑色の帯状のラインを設置し、視覚的に歩道部を明確化するグリーンベルトの設置事業によりまして、歩行者や自転車の交通安全確保に努めてまいりたいと思っております。今後、当箇所におきましても、グリーンベルトの整備に向けて準備を進めていきたいと考えます。

以上です。

○議長（小泉珠季君） 吉田莉麻君。

○吉田莉麻君 これで私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（小泉珠季君） 吉田莉麻君の質問及び答弁は終わりました。

五所村央歩君。

○五所村央歩君 山代中学校3年、五所村央歩です。

加賀市の公共交通機関の充実について質問します。

近年、お年寄りが運転した車との接触事故が増えています。先日、加賀市でも子供が車にはねられる事故がありました。運転手はお年寄りだったと聞きます。

そこで、加賀市に、お年寄りの免許返納または免許再取得を要求します。

ですが、お年寄りの免許返納にはデメリットもたくさんあります。例えば、車が使えなく

なることにより、外に出かける機会が減り、足腰が弱っていくことやひきこもっていつてしまうことが考えられます。

しかし、改めて考えると、その原因はお年寄りの運転が問題ということではなく、加賀市は車以外の交通手段が少な過ぎるということではないかと思います。バスは1日大体4本しか通っていませんし、タクシーも少ないです。

これは、お年寄りに限ったことではありません。私の姉は電車通学なのですが、駅までのバスが少なく、毎日、朝早くと夜遅くに母が駅まで送り迎えをしています。電車に見合った時間のバスがないのです。これもバスの本数が増えれば解決することだと思います。

お年寄りの送迎をする「のりあい号」などがもっと広まればいいのにとおもいますので、その辺の周知徹底をしていていただきたいです。そして、バスの本数の増加を要求します。

そこで、市当局の考えをお聞かせください。

○議長（小泉珠季君） 宮元市長。

○宮元市長 加賀市公共交通機関の充実についてお答えしたいと思います。

まず、お年寄りの免許返納につきましては、運転免許証を返納されたお年寄りに乗合タクシー乗車回数券などを贈呈いたしまして、自家用車なしでの移動や外出を支援する制度を実施いたしております。自主的な返納を促しているところであります。

御質問にありました免許返納に伴う課題としてだけではなくて、今年実施した市民アンケートからも、公共交通の充実につきましては市の最重要事項と認識いたしております。

加賀市の公共交通の現状であります。市内では自家用車以外の交通手段といたしまして、北陸新幹線、IRいしかわ鉄道、路線バス、周遊バス、タクシー、乗合タクシーなどがあります。今年の3月からは、バスやタクシーを補完するための交通手段といたしまして、市民の自家用車を有効活用する加賀市版ライドシェアを始めております。また、乗合タクシーも、利用者のニーズに合わせまして、より効率的な運行ができるように改善を図っているところであります。

五所村議員御指摘の路線バスの本数を増やすには、ドライバー不足や採算性など難しい面もありますので、地域の交通事業者とも協力しながら、あらゆる移動手段、地域資源を活用して、誰もがいつでも自由に移動できる「移動最適化都市・加賀市」を目指してまいりたいと思っております。

公共交通の維持、利便性の向上のためには、少しでも多くの方に公共交通機関を利用してもらうことが重要であります。市民の皆さんや観光客に対しましても積極的に周知して、公共交通機関の利用促進を図ってまいりたいと考えております。

以上です。

○議長（小泉珠季君） 五所村央歩君。

○五所村央歩君 これで私の質問を終わります。

○議長（小泉珠季君） 五所村央歩君の質問及び答弁は終わりました。

島貫礼衣君。

○島貫礼衣君 東和中学校3年、島貫礼衣です。

通学路の交通安全について質問します。

今年の5月、東和中学校の生徒1人が自転車で通学中に交通事故に遭い、亡くなるという、非常に悲しい出来事がありました。亡くなられた本人そして家族の方に、心からお悔やみ申し上げます。もう二度とこのような事故があってはなりません。そこで、私から通学路の交通安全について質問をさせていただきます。

私の通う東和中学校の通学路には、急な曲がり角や特に細い道などでは、見通しが悪いにもかかわらず、信号や道路標識、カーブミラーがないところや老朽化の進んでいるところがたくさんあります。そのため、通学登下校のとき、びっくりうどんが近くにある交差点や弓波町のアンダーパスなどで車と接触しそうになり、ひやっとすることが、自分や友達も何度か体験したことがあります。

そこで、私は、新しい道路標識、カーブミラーの設置を求めます。

そして、信号のない横断歩道など、危険な場所が分かるように、道路にトリックアートをつけばいいと思います。

例えば、神奈川県道路には、500メートル置きに「あっ！」と書かれた場所があったり、愛知県道路には、赤や黄色などのカラフルな市松模様が描かれており、それらは運転手に視覚的に強く訴え、停止や危険を促す効果があるそうです。

そこで、加賀市も危険箇所市に市のシンボルマークのトリックアートを道路につけるのはどうでしょうか。市の考えをお聞かせください。

○議長（小泉珠季君） 宮元市長。

○宮元市長 通学路の交通安全についてお答えいたします。

5月に発生をした交通事故は、東和中学校の生徒さんが亡くなるという、大変痛ましいものでありました。改めて、心よりお悔やみ申し上げたいというふうに思っております。

市内の道路につきましては、毎年、各町内会や学校などから、修繕や道路標識の設置など御要望をお聞きし、現地を確認した上で、大聖寺警察署等の関係機関と連携しながら対応いたしております。その中で、道路の一部老朽化や見通しの悪さなどによって、危険に感じる箇所があることは承知いたしております。

道路標識は警察署が担当することになりますが、カーブミラーは道路管理者や町内会で設置ができますので、御要望に応じて関係機関とも相談して対策を進めていきたいと思っております。

島貫議員が御提案された、危険箇所市に市のシンボルマークをペイントすることにつきましては、大変ユニークで面白い発想だと思っております。各学校の通学路は様々で、危険箇所も違いますので、実際に通学路を通行する生徒の皆さんが安全対策に効果的なトリックアートを御提案いただきまして、コンテスト形式でユニークなマークを決定するという取組も面

白いのではないかと考えております。

それに合わせて、先ほど吉田議員にお答えいたしました、グリーンベルトを併用することによりまして、視覚的に注意を促す効果が高まるものと考えております。

今後も皆さんと共に、悲惨な交通事故がなくなりますよう、より一層対応を進めていきたいと思っております。

以上です。

○議長（小泉珠季君） 島貫礼衣君。

○島貫礼衣君 以上で私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（小泉珠季君） 島貫礼衣君の質問及び答弁は終わりました。

中学生議員の加賀市政に対する一般質問は全て終わりました。

以上をもって本日の議事全部を終了いたしました。

中学生議員の皆さん、本日は大変お疲れさまでした。

私たち中学生が日頃から思っている疑問や意見が市当局に十分伝わったことと思います。

また、宮元市長、島谷教育長におかれましては、丁寧な御答弁ありがとうございました。

最後に、今回の中学生議会の開催に当たって補佐をしていただいた市議会議員の皆様に、お礼を申し上げます。ありがとうございました。

中学生議会はこれをもって閉会いたします。

講 評

○上田副議長 以上で中学生議会の議事は全て終了いたしました。

本当に中学生議員の皆様、お疲れさまでございました。また、答弁いただきました宮元市長、島谷教育長、ありがとうございます。緊張した中だと思しますので、宮元市長や島谷教育長のお答えしたことが多分なかなか自分の耳に残っているかどうか分かりませんが、この後、皆さんのところには、先ほど皆さんの質問にお答えしていただいた答弁書はお渡しさせていただきますので、ぜひそれをお持ち帰っていただいて、自分の質問がどんな施策、どんな回答が来たのかなというのをまた御確認していただいて、学校生活やそして学習活動の場で生かしていただければなと思っております。よろしくお願いします。

ここで、宮元市長より御講評をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

○宮元市長 今日は中学生議長の小泉さんをはじめ中学生の皆さん方、本当によこそ市議会へお越しいただきまして、大変積極的な御質問をいただきましたこと、お礼を申し上げたいと思いますし、今ほど上田副議長のほうからもありましたが、議員の皆さん方におきまして、大変手厚いサポートをしていただきましたことを、併せてお礼を申し上げたいというふうに思います。

今日は、身近な学校生活における質問とか地域の問題について、様々な角度から大変鋭い質問も増えて、大変有意義な御質問をいただいたなというふうに思っております。

1年前か2年前か忘れましたが、東和中学校に行ったときです。生徒の皆さんから、市長、定期試験、定期テストやめてください、大きい声でもう何回も言われたことが記憶に残っておりまして、今日もそういう質問が出るのかなと思っておりましたが、教育長も大変嫌がると思いますが、そういう質問は出なかったわけでありまして。でも、本音では、そういう思いも皆さん方にはあるのかなと思います。

最近とみに高い評価をいただいておりますが、教育委員会も、教育界というのは大変進んでおります。学校教育において、皆様方が学校に進んで行きたい、そして学びが楽しくなっている。どんどん自分の思いで問題解決していきたいという機運がだんだん盛り上がってきておりまして、学校というのは楽しいところだというふうなことを感じていただけるようにどうもなっているようでありまして、我々皆さん方の教育を一丁目一番地と考えている者にとっては、こんなにうれしいことはないです。こんなにうれしいことはありません。

ましていわんや皆さん方は、加賀市の宝でありますし、将来日本の宝であります。皆さん方によって加賀市がどういうふうにならっていくか、日本がどういうふうにならっていくか、本当に皆さん方の双肩にかかっていると思っております。

今日のような質問が皆さん方にとって加賀市の誇りにつながっていくように、またシビックプライドを醸成していく上において大きな役割を果たしていくように、私も心から祈るような思いで皆様方の質問を聞かせていただいたところであります。

皆様方がこれからますます活躍して、そして日本のために活躍していただけるようなことになっていきますように心から期待しておりますし、皆様方のために全力を挙げて市は応援したいと、そんなふうに思っております。頑張ってください。今日はありがとうございました。

○上田副議長 宮元市長、ありがとうございました。

これにて、中学生議会を終了いたします。

なお、中学生議員の皆様、宮元市長、深村副市長、島谷教育長、今津議長、補佐役議員の皆さんにおきましては、この後、記念撮影を行いますので、この場でお待ちください。

本当にお疲れさまでございました。ありがとうございました。